

キャッシュレス決済を導入した、  
八戸学院大と八戸学院大短期大学  
部の文化祭「はちがくフェス20  
24」は19日、八戸市



八戸学院大（水野眞佐夫学長）  
と八戸学院大短期大学部（杉山  
幸子学長）で、19日から始まった文化祭「はちがくフェス2024」で、スマートフォンによるキャッシュレス決済が導入された。KDDIが提供するサービス「au PAY」を活用し、各模擬店にあるQRコードをスマホで読み取ることによって代金支払いが可能で、同社東北総支社によると、東北地方の高校、大学で初という。20日まで。

取り組みは「au PAY  
キャッシュレス学園祭」と銘打ち、2022年から始まり、全国で導入事例が広がっている。

## 八学大・短大 キャッシュレス決済 文化祭模擬店で導入

キャッシュレス決済の導入で、  
出店側の生徒や学生は売り上げ  
の可視化などのメリットを体験  
しながら、現金管理の負担軽減  
といった運営の効率化が図れる  
という。初日は多数の来場者が  
模擬店での買い物を楽しんでいた。

文化祭の実行委員会会長を務  
める同大3年の関順晟さん(21)  
によると、「今までなかったこ  
とに挑戦したい」との実行委の  
思いから今回の取り組みに参  
画。「キャッシュレスで現金で  
の負担やミスを減らせる。今後  
も導入を前向きに検討したい」  
と話していた。  
(船渡拓)